学びの部屋　～5年生～「体験的な学習を通して学ぶ」

５年生は、総合的な学習の時間に社会科の米作りの学習を関連させ、『ごはんもりもりプロジェクト』として教室のベランダでバケツ稲作りに取り組んでいます。はじめは、直径７㎜ほどの小さな種もみを発芽させるところからスタートし、「本当にお米になるのかな。」と心配していましたが、今は稲穂が実り黄金色になり始めていて、収獲を心待ちにしています。今度、生活協同組合のパルシステムさんの御協力のもと「脱穀・籾摺り実習」を行う予定です。「実際に教科書で学んだことを体験できる。」と楽しみにしている子もいます。



他にも２７日には社会科の自動車工業の学習と関連し、三菱自動車さんの御協力のもと、自動車と環境との関連性についてのお話を聞き、電気自動車給電体験も行う予定です。体験的な学習を通して、学びがより深まっていくようにと願っています。

（５年１組　高橋　さや香）

第２回　研究授業　４年

第２回の校内研究授業として４年２組が社会科「東京都の水害から暮らしを守る取組」の授業を行いました。はじめに、大雨や台風による水害について学習しました。川の氾濫や土砂災害、高潮などの被害に遭った写真や映像の資料を見て、子供たちは「家や車が流されている。」「水害って怖いんだ。」「水害の対策が必要だ。」と、水害対策に対する興味を高めていました。

研究授業では、芝小学校の水害対策について考え学習しました。児童に身近な水害対策を教材資料として提示し、そうすることで、「こんな身近に水害の対策があったんだ。知らなかった。」「東京都の水害対策についても調べてみたい。」といった声を児童からたくさん聞くことができました。



「受け継がれる祭り」の学習では、児童に身近な港区内の祭りを取り上げて教材として活用したり、「玉川上水の開発」の学習では、昔の人たちが使った用具などを資料として活用したりしていきます。今後も、児童が主体的に学習に取り組める指導を行っていきます。　（４年２組　佐藤　昭夫）



ハロウィンパレード

２年生は、国際科の学習の中でハロウィンに関する英単語の言い方を学習したり、ハロウィンの文化についての説明を聞いたりして、外国の文化について体験的に理解を深めています。その体験の一環として、ハロウィンパレードを行います。仮装をした２年生が「Trick or Treat！」と言ったとき、お菓子をもらうことができるのでしょうか、それともいたずらをしてしまうのでしょうか。

ハロウィンパレードに参加していただく地域の皆様や保護者の皆様、御協力ありがとうございます。今年度は感染症予防対策として、日々の健康観察や手洗いに加えて、各クラス３グループずつに分かれてパレードを行い、地域の方々と交流をします。子供たちが楽しみながら、外国の文化に親しむことができることに感謝申し上げます。　（国際科主任　荒井　かりん）

